

『第 31 回極域気水圏シンポジウム』開催のご案内

国立極地研究所・気水圏研究グループは、毎年、極域の大気圏、雪氷圏、海洋圏の研究をテーマとしたシンポジウムを企画・開催しております。本年は、一昨年(第 29 回)と同様に「極域気水圏・生物圏合同シンポジウム 2008」と題して生物圏研究グループと共同で開催いたします。気水圏・生物圏にまたがる境界領域研究として、新領域融合研究センターの「氷床生物プロジェクト」に関わる合同セッションを企画しております。

さて、本年4月に帰国した第 48 次越冬隊は、「南極地域観測第 VII 期計画(第 48 次隊～第 51 次隊)」の初年度計画を実施いたしました。重点プロジェクト研究観測「極域における宙空－大気－海洋の相互作用からとらえる地球環境システムの研究」の一環として、オゾンホールメカニズムのメカニズム解明に向け、8つの外国基地と連携したオゾンゾンデ観測やフーリエ変換赤外分光計を用いた集中観測を成功させています。一方、第 49 次夏隊は、飛行機を利用して南極へアクセスする複数のグループがあり、これまで以上に多面的な活動を行いました。その中の一つである日本・スウェーデン共同トラバース調査は、IPY(国際極年)2007-2008 に位置づけられた国際共同観測であり、全長 2,800km におよぶ測線において、氷床内部構造や極限環境微生物の解明を目指す観測が行われ、これについては特別セッションを設けることとしました。その他、萌芽研究観測、モニタリング研究観測、定常観測も精力的に行われています。

国内では南極、北極、アジア、ユーラシアなど多くの地域に展開する観測から得られたデータや試料等による研究が進展しています。これらの解析結果はもとより、南北両極・寒冷域を主な対象とした大気科学、雪氷学、海洋学に関する研究成果などを、ひろく議論するシンポジウムを開催いたします。

***** 記 *****

開催期日： 2008 年 12 月 2 日(火)－ 5 日(木)

会場： 国立極地研究所

日程： ※申込等の状況で変更する場合があります。

12 月 2 日(火)【使用言語：日本語・英語】

午前 口頭セッション：大気

午後 ポスターセッション：気水圏

// 口頭セッション：海洋・海氷

// 口頭セッション：雪氷

12 月 3 日(水)【使用言語：英語】

午前 日共同トラバースセッション

午後 合同セッション：雪氷圏微生物

夕方 懇親会

12 月 4 日(木)【使用言語：英語】

午前 合同セッション:極限環境微生物
午後 生物圏セッション
12月5日(金)【使用言語:英語】
午前 生物圏セッション
午後 生物圏セッション

発表申込:

12月2日午前午後、および12月3日午前のセッションにつきましては、当シンポジウムWEBにてお申し込み手続きを行っていただきます。

詳細は <http://polaris.nipr.ac.jp/~pmg/jp/> をご覧ください。

合同セッションならびに生物圏セッションに関しては、「31回極域生物シンポジウム」
<http://polaris.nipr.ac.jp/~penguin/indexj.html> をご覧ください。

申込締切: 発表申込締切: 2008年8月29日(金)
アブストラクト提出締切: 2008年9月30日(火)

お問い合わせ先:

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立極地研究所 気水圏研究グループ
極域気水圏シンポジウム係 (担当:橋田・岡崎)
〒173-8515 板橋区加賀 1-9-10
TEL: 03(3962)7125
FAX: 03(3962)5719
E-mail: sympo-admin@pmg.nipr.ac.jp
URL: <http://polaris.nipr.ac.jp/~pmg/jp/>